ガウディとサグラダ・ファミリア展

Gaudí & The Sagrada Família

2023 9/30 sat - 12/3 sun

画像①
サグラダ・ファミリア聖堂（降誕の正面側）、2023 年 1 月撮影
© Fundació Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família

【開催概要】

佐川美術館では、秋季展覧会として「ガウディとサグラダ・ファミリア展」を開催いたします。
スペイン、カタルーニャ地方のレウスに生まれ、バルセロナを中心に活動した建築家アントニ・ガウディ(1852-1926)。バルセロナ市内に点在するカサ・ビセンス、グエル公園、カサ・バッリョ、カサ・ミラ、サグラダ・ファミリアなど世界遺産に登録された建築群は、一度見たら忘れることのできないそのユニークな造形によって世界中の人々を魅了し続けています。ガウディの独創性は、西欧のゴシック建築やスペインならではのイスラム建築、さらにカタルーニャ地方の歴史や風土など自らの足元を深く掘り下げることで、時代や様式を超越した革新的な表現に到達したことにあります。
本展は、長らく「未完の聖堂」と言われながら、いよいよ完成の時期が視野に収まってきたサグラダ・ファミリアに焦点を絞り、この聖堂に即してガウディの建築思想と造形原理を読み解いていくものです。図面のみならず膨大な数の模型を作ることで構想を練り上げていったガウディ独自の制作方法に注目するとともに、「降誕の正面」を飾る彫像も自ら手掛けるなど建築・彫刻・工芸を融合する総合芸術志向にも光を当てます。図面、模型、写真、資料など 100 点以上を展観し、最新の映像をまじえながらガウディ建築の豊かな世界に迫ります。

展覧会実施概要

◆名　　称：ガウディとサグラダ・ファミリア展
◆会　　期：2023 年 9 月 30 日［土］～12 月 3 日［日］
◆開 館 時 間：午前 9 時 30 分　～ 午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
◆休　館　日：月曜日（10/9 は開館）、10/10、11/28
◆入　館　料：一般￥1,300/高大生￥900/中学生以下無料　※要保護者同伴
※専門学校・専修学校は大学に準じる ※障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1 名のみ）無料

WEB 事前予約制
ご予約時にネット決済による
入館チケットの購入をお願いします。

［主催］佐川美術館（公益財団法人ＳＧＨ文化スポーツ振興財団）、NHK 大津放送局、NHK エンタープライズ近畿、中日新聞社
［共同企画］サグラダ・ファミリア贖罪聖堂建設委員会財団　［後援］スペイン大使館、滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
［協賛］SOMPO ホールディングス、DNP 大日本印刷、YKK AP　［協力］ＳＧホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

ガウディ略年譜

アントニ・ガウディ(1852-1926)

1852 年	6 月 25 日、スペインのカタルーニャ地方、レウス市に生まれる。父は銅板器具職人。
1873 年	県立バルセロナ建築学校（現・カタルーニャ工科大学建築学部バルセロナ校）に入学。
1878 年	建築学校を卒業し、建築家の資格を取得。パリ万国博覧会に出品したクメーリャ革手袋店ショーケースのデザインが、アウゼビ・グエル（後のパトロン）に認められる。
1883 年	前年に起工したサグラダ・ファミリア聖堂の二代目建築家に就任。**作品：カサ・ビセンス(～1885 年)**
1900 年	「降誕の正面」の全貌が明らかになり、サグラダ・ファミリア聖堂建設への社会的な理解が深まる。
1904 年	**作品：カサ・バッリョの増改築開始(～1906 年)**
1906 年	サグラダ・ファミリア聖堂外観完成予想図初公表。**作品：カサ・ミラ(～1910 年)**
1910 年	パリのグラン・パレでガウディ展開催。
1914 年	他の全ての仕事から手を引き、サグラダ・ファミリア聖堂の建設に専念することを宣言、献金集めに奔走する。
1926 年	路面電車にはねられ死去。享年 73 歳。

画像②
《ガウディ肖像写真》1878 年
アルドゥアルト社、レウス市博物館

写真嫌いだったガウディ。きちんと顔が映った無帽の写真はこれまで 5 枚しか確認されていません。このポートレート写真は、建築学校を卒業して間もない頃のもので、将来に希望を抱く若き日の姿がそこにあります。

みどころ

1．ガウディの創造の源泉を探ります

ガウディはゼロから独創的な建築を創造したわけではありません。ガウディの才能は、西欧建築の歴史、異文化の造形、自然が生み出す形の神秘を貪欲に吸収し、そこから独自の形と法則を生み出したことにあります。
「歴史」「自然」「幾何学」の 3 つのポイントから、ガウディの発想の源泉を探ります。

2．サグラダ・ファミリアの建設プロセス

この聖堂建設プロジェクトは誰の発案ではじまり、その後どのような変遷をたどったのか、建設プロセスを明らかにします。模型を修正しながら聖堂の形と構造を探ったガウディ独自の制作方法に注目するとともに、140 年を超える長い建設の過程でガウディ没後にプロジェクトを引き継いだ人々の創意工夫にも光を当てます。

3．総合芸術としてのサグラダ・ファミリアの豊かな世界をひもときます

ガウディはサグラダ・ファミリアにおいて、聖書の内容を表現する彫刻制作にも取り組むほか、外観・内観の光と色の効果や、建物内の音響効果にも工夫を凝らし、諸芸術を総合する場として聖堂を構想しました。本展では、ガウディの建築家としての一面だけでなく、総合芸術プロデューサーとしての一面にも焦点を当てることで、聖堂の豊かな世界に迫ります。

4．サグラダ・ファミリアの壮麗な空間を空中散歩

NHK が撮影した高精細映像やドローン映像を駆使して、肉眼では捉えられない視点で聖堂を散策。ステンドグラスを通過した光が聖堂内を彩る景色の変化も圧巻です。マリアの塔が完成し、いよいよイエスの塔の建設という最終段階に向かうサグラダ・ファミリアの現在の姿を、最新の映像を通して伝えます。

画像③
サグラダ・ファミリア聖堂内観、2020 年 5 月撮影
© Fundació Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família

展示構成

1．ガウディとその時代

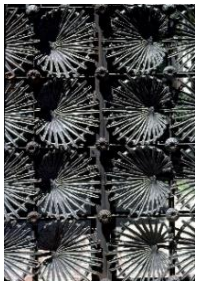
ガウディがバルセロナ建築学校で学んだ 19 世紀後半は、産業革命とそれに伴う都市部への人口流入によってヨーロッパの都市がかつてない規模で変貌を遂げた時代にあたります。また、当時の最先端の科学技術や世界各地の文化、風俗、建築が一堂に会する万国博覧会が競うように開催された「万博の時代」でもありました。この章では、ガウディが 1878 年のパリ万博に出品した作品のスケッチや、当時の文化や建築を知る手掛かりとなる資料を紹介しながら、若き日のガウディの活動と時代背景をたどります。

2．ガウディの創造力の源泉

ガウディの独創的な建築はどこから生まれてくるのでしょうか。「創造は、人を介して途絶えることなく続くが、人は創造しない。人は発見し、その発見から出発する」と語ったガウディ。その言葉通り、ガウディは既存のものを丹念に研究・発見することから革新的な造形を創出します。中世にイスラム教国となったスペイン特有のイスラム建築や中世ゴシック建築のリバイバルに取り組んだり、徹底した自然観察から造形の原理を引き出し有機的なフォルムの建築や家具をデザインしたりと、既に存在するものからの発見が、ガウディ建築の重要な発想源となりました。また、自然の中に潜む幾何学に注目し、放物線をはじめとする曲面造形を建築へ応用したのも特筆すべき点です。本章では「歴史」「自然」「幾何学」の 3 つのポイントから、ガウディの創造力の源泉とその展開をたどります。

アントニ・ガウディ
《植物スケッチ（サボテン、スイレン、ヤシの木）》
1878 年頃、レウス市博物館

ガウディは、過去の建築装飾を参照するだけでなく、実際に目にした動植物をつぶさに観察し、しばしば自然を直接石膏でかたどることで装飾を造形しました。カサ・ビセンスでは、敷地内に茂った棕櫚（しゅろ）の樹の葉をかたどって鋳型を作り、連続するパターンをもとに門扉をデザインしています。このような自然をもとにした装飾の究極の形がサグラダ・ファミリア聖堂に結実しており、「降誕の正面」には植物や小動物をはじめとする生物の多様性が表現されています。

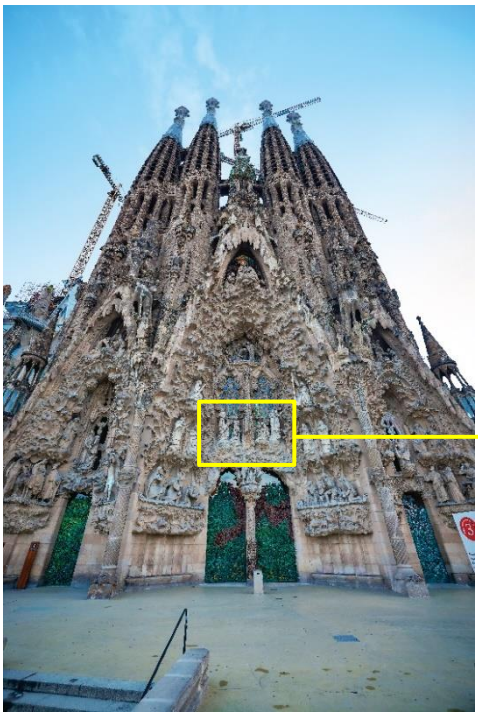


カサ・ビセンス、
棕櫚の鉄扉
photo：鳥居徳敏

アントニ・ガウディ
《カサ・ビセンス、
鉄柵の棕櫚の模型》
1886 年頃
サグラダ・ファミリア聖堂

3．サグラダ・ファミリア聖堂の軌跡

サグラダ・ファミリア聖堂は、建立提案から 150 年の歳月が経とうとしています。着工した翌年から 43 年間、ガウディは建築家としての全人生をこの聖堂に捧げました。しかし、サグラダ・ファミリアはガウディ一人が造り上げたわけではありません。あらゆる部分の造形にガウディの独創性が溢れている一方、ガウディ以前の建立母体や、ガウディ没後にプロジェクトを引き継いだ人々の力があって今日に至ります。本章では、聖堂の起源から現在までの全軌跡をたどります。



サグラダ・ファミリア聖堂、降誕の正面
写真提供：株式会社ゼネラルアサヒ

画像④
外尾悦郎《サグラダ・ファミリア聖堂、降誕の正面：歌う天使たち》
サグラダ・ファミリア聖堂、降誕の正面に 1990-2000 年に設置、作家蔵
写真提供：株式会社ゼネラルアサヒ

「降誕の正面」の彫刻群のうち、中央の扉のすぐ上に 9 体の天使像があります。その制作を担当したのが、1978 年以来サグラダ・ファミリア聖堂で彫刻家として従事する日本人・外尾悦郎(そとおえつろう)です。外尾はガウディが残したわずかな資料を頼りに、これらの彫像を作りました。本展では、2000 年に砂岩で制作された石像に置き換わるまで実際に「降誕の正面」に設置されていた、この石膏像を展示します。

4．ガウディの遺伝子

ガウディの建築は、そのユニークな造形や設計原理のみならず、社会の中で建築やモニュメントを成立させる思想的側面など、さまざまな形で後世に影響を及ぼしています。展覧会の締めくくりとなるこの章では、世界と日本におけるガウディの受容の歴史や、現代の建築家に与えた影響を紹介しながら、ガウディの遺伝子が 21 世紀の現代にいかなるアイディアをもたらしているのかを問いかけます。

イベント情報

■講演会

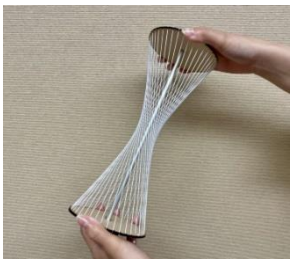
日　　時：10 月 28 日(土) 14:00～15:30
講　　師：山村 健 氏（本展企画アドバイザー、YSLA Architects、東京工芸大学准教授）
定　　員：120 名（当日整理券配布予定）
参 加 費：無料（但し入館料は必要）

■ワークショップ

ガウディが建築に取り入れた **単双曲線面模型を組み立てる**

日　　時：10 月 29 日(日) ①10:30～ ②14:00～
講　　師：山村 健 氏（本展企画アドバイザー、YSLA Architects、東京工芸大学准教授）
定　　員：各回 16 名
参 加 費：500 円（材料費含む）
申込方法：9 月 30 日(土)より当館 HP にて受付開始予定

模型を組み立てて
ガウディの造形原理を体感しよう！



複雑な曲面を含む建築は、図面に描くことも建設することも容易でなく、建築家の指示を必要としました。そこでガウディは、幾何学を取り入れることで、複雑な造形を職人に分かりやすく伝達しました。上の画像の「単双曲線面」は一見複雑な曲面に見えますが、すべて直線で構成されているため、線に添って制作を進めるだけで、ガウディのイメージした造形を作り出すことができます。直線で構成された曲面は、常に直線に進む自然光を採り入れるのに適しており、サグラダ・ファミリアの側壁にある大窓や天井窓など採光部分に駆使されています。

●広報用画像について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**画像番号が記載されているもの**）をご用意しております。
画像データをご希望の方は、同封の**作品画像使用申込書**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。
当館ホームページ（https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/）から画像申請も受け付けております。
その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご相談ください。
なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションと著作権表記もお願いいたします。原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めにお願いいたします。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合
駐車場有 70 台、美術館入館者は無料
○ 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 （約 30 分）
○ 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 （約 30 分）
○ 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由 （約 40 分）
鉄道ご利用の場合
○ JR 琵琶湖線守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 35 分）
○ JR 湖西線堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 15 分）

◆連絡先◆
公益財団法人ＳＧＨ文化スポーツ振興財団
佐川美術館
〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL：077-585-7800／FAX：077-585-7810
企画担当学芸員 ： 深井 千尋（ふかい ちひろ）
c_fukai001@sagawa-artmuseum.or.jp

ガウディとサグラダ・ファミリア展
Gaudí & The Sagrada Família

作品画像使用申込書

佐川美術館　宛
FAX / 077-585-7810

申込日　2023 年　　月　　日

作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意	● 申請された方法、目的以外には使用しないでください。 ● 掲載誌・紙は資料として 1 部お送りくださいますよう、お願いいたします。 ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。 ● WEB 事前予約制であることを必ず明記ください。予約の詳細はホームページに記載します。
使用作品 ※ご希望の作品にチェックを入れてください。	□ ① サグラダ・ファミリア聖堂（降誕の正面側）、2023 年 1 月撮影 © Fundació Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família □ ② 《ガウディ肖像写真》1878 年アルドゥアルト社、レウス市博物館 □ ③ サグラダ・ファミリア聖堂内観、2020 年 5 月撮影 © Fundació Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família □ ④ 外尾悦郎《サグラダ・ファミリア聖堂、降誕の正面：歌う天使たち》 サグラダ・ファミリア聖堂、降誕の正面に 1990-2000 年に設置、作家蔵 写真提供：株式会社ゼネラルアサヒ 上記キャプションと著作権表記をお願いします。 原稿は企画担当者まで必ずお送りください。 確認に期日を要するため、お早めにお願いいたします。 計　　点
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	
ご連絡先	ご住所：（〒　　－　　） メールアドレス： TEL：　　FAX：
発行（掲出）予定日	年　　月　　日　　号
使用形態（○印）	Web サイト　／　印刷物（ カラー ／ モノクロ ）